

2023 年度 大妻女子大学人間生活文化研究所 共同研究プロジェクト

「近現代アジア太平洋地域における文化の諸相に見る相関関係」(研究代表者：松村茂樹) 基調講演会 [日本語]

基調講演者

キース・ヴィンセント (J. Keith Vincent) 先生

ボストン大学准教授 Ph. D

日本文学, 比較文学, ジェンダー研究専攻,



日時：2023 年 9 月 25 日(月)14:40-16:10

場所：大妻女子大学千代田キャンパス G311A アクティブラウンジ
参加自由 (どなたでもお越しください)

アメリカでは、日本文学はどのように研究されているのでしょうか？ この興味あるテーマに回答をいただくため、ボストン大学のキース・ヴィンセント先生をお招きし、基調講演会を開催します。キース先生は、『漱石の居場所 日本文学と世界文学の交差』(2019 岩波書店) の共同編者をされるなど、アメリカにおける日本文学研究の第一線で活躍されています。今回、「「火焰を包みたる氷の如し」正岡子規の従兄弟、藤野古白について」と題し、現在執筆中の著書から抜粋して、日本語で講演くださいます。

明治 28 年 (1895)、正岡子規の従兄弟で、夏目漱石の教え子でもあった藤野古白がわずか 23 歳で歿しました。講演では、この将来有望であった作家と子規と漱石との関係の軌跡をたどり、作家の対人関係や喪失と追悼の経験が、創作活動にどのように貢献しているかを探ります。キース先生には、なぜ日本文学に興味を持ったのかもあわせてお話しいただきます。質問の時間もたっぷり取っています。皆様のご参加を歓迎いたします。

問い合わせ：松村茂樹 shigeki.matsumura@otsuma.ac.jp